

しまう。生意気インストラクターの杏奈ちゃんが文句を言いながら俺の身体をデカパイでストレッチして、最後は騎乗位生挿入セックスするんだ。

『あん♡ああん♡だめえ♡』

うおお、たまらん。早く杏奈ちゃんになりたい！

「まあ、ちゃんと運動するなら出禁にはしません。上にもそう伝えます」

「……わかりました。なら田中インストラクターが個別指導してくれるってことですね？」
俺はスマホを取り出した。

「はい？何を言ってるんですか？」

「いやだから、個別指導ですけど」

「個別指導って」

杏奈ちゃんは困惑しているようだったが、俺は構わずアプリを起動した。くらえ！

『常識改変！』

「えっ？何？」

杏奈ちゃんがキョトンとした顔をする。可愛いねえ、生意気インストラクターちゃん。

『インストラクターは、問題のある会員と個室でみっちり会員を更生するために特別指導をしなければならぬ』